

# 江戸城天守再建ルネッサンス 会員の皆さまへの説明会開催のご案内

江戸城天守再建ルネッサンスに会員として入会・ご支援いただいている皆さまへ感謝申し上げるとともに、江戸城天守再建の本格的な事業主体となる当会の活動につきまして、改めてご紹介する説明会を開催いたします。

あわせて、今後展開していく会員参加の検討委員会の主旨と内容をご提示、ご説明し、会員の皆さまと共に進めてまいります江戸城天守再建活動の意義を確認させていただく場としたいと考えております。

◆開催日時 2017年7月26日(水) 午後2時から午後4時(予定)

◆会場 学士会館 302号室 (詳しくは別紙の案内函をご覧ください。)

〒101-8459 千代田区神田錦町3-28 電話 03-3292-5936(代)

◆参加費 2,000円(部屋代、資料代、人件費、雑費等)

※当会は非営利法人のため、実費等を頂戴させていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。領収書はご用意しておりますので、お申し出ください。

◆参加対象者 本説明会は会員(正会員・準会員)限定とさせていただきます。

※この際に、是非、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

◆参加人数 30名 ※お申込み先着順で満員となり次第、締め切りとさせていただきます。

◆説明会式次第

1) 代表理事ご挨拶

2) 出席者(会員、ゲスト)ご紹介

3) 基調講演

・江戸城のお話(千代田区文化振興部文化財担当主査)

旧江戸城の現場から見えるもの

4) 江戸城天守再建ルネッサンスの活動について

・これまでの経緯と今後の展開

・江戸城復元に向けての検討委員会

5) 検討委員会設置について

◆申込み方法

当ご案内を印刷いただき、下記申込書に必要事項をご記入の上、事務局[03-6261-6813]までFAXでお申込みください。

Eメールでの申込みは、下記事項を明記の上、[info@zaidan-edojo.or.jp]まで送信ください。

お申込み後に参加の可否について事務局よりご連絡いたします。また、お申込み後に参加を見合わせる場合は、7月21日(金)までに必ず事務局にご連絡ください。

## 江戸城天守再建ルネッサンス 会員説明会 参加申込書 ( 月 日 )

お名前	会員番号	メールアドレスまたはご住所	連絡先電話番号

※会員番号はお分かりになる方のみご記入ください。

# 学士会館 案内図

〒101-8459 千代田区神田錦町3-28

電話 03-3292-5936(代)

〔最寄り駅〕

【電 車】・都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線

「神保町」駅下車 A9 出口から徒歩 1 分

・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a 出口から徒歩 5 分

・JR 中央線／総武線「御茶ノ水」駅下車御茶ノ水橋口から徒歩 15 分

【タクシー】「東京」駅 丸の内北口からタクシーで 10 分



## 会員の皆さまへの説明会並びに基調講演のご報告

- ◆開催日時 2017年7月26日(水) 午後2時から午後4時
- ◆会場 学士会館 302号室
- ◆参加者 32名

### 1. 開会

#### 2. 代表理事挨拶 (小竹直隆代表理事)

- 平成29年1月24日に一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」を設立したこと、その設立の経緯と背景、今後の運動の進め方について説明があり、参加者の皆様からのご賛同、ご理解をいただきました。(尚、「設立の経緯と背景、今後に向けて」はホームページの「会の概要」にも「詳細版」として掲載しています。)



#### 3. 基調講演「江戸城の歴史について」

講師：千代田区地域振興部文化振興課文化財担当 主査 後藤宏樹氏

- 後藤主査がご担当の江戸城全域について、現在、判明している歴史的研究の成果について、スクリーンに映像を映しながら説明がありました。
- 参加者からは、分かりやすく大変良かった、との感想が多く聞かれました。
- 江戸城の縄張りや規模について、他の城郭との比較も交えて解説がありました。



- 石垣や惣構え、更には御殿建築の障壁面に至るまで、解説は多岐に渡りました。



#### 4. 江戸城天守再建ルネッサンスの活動について

- 会場での配布資料(「趣意書」の抜粋)に基づき、NPOから財団への活動の流れ、基本構想における財団活動のキーワードの説明、及び今後展開していく検討委員会の考え方について説明がありました。

5. 「江戸・東京グランドデザイン検討委員会」(仮称)について

- ・会場での配布資料(検討委員会の設置について)に基づき、同委員会の設置の趣旨・目的と運営についての考え方、今後の検討委員募集等の活動について説明がありました。
- ・その際に、江戸城天守復元に関する課題について、天守台を中心に説明がありました。

6. 閉会